定例会の内容を報告いたします

2025年９月定例会
市政報告

◆橋本たかしのプロフィール

※SNSは日々更新中！！

生年月日	1978年10月20日
会派・役職	日本維新の会・芦屋市議団幹事長
所属委員会	民生文教常任委員会
経歴	潮見幼稚園・潮見小学校 報徳学園中高・甲南大学経営学部卒業 '01～㈱ジェーシービー（'14年～管理職） '23年 初当選（4249票、歴代最多得票）
資格	ビジネスキャリア検定二級 ビジネス実務法務検定二級 個人情報取扱主任者 クレジット債権管理士
特技	テニス（インターハイ・インカレ出場） 釣り（大会入賞多数）、料理、 パピーウォーカー（現在二頭目）
その他	
情報発信	リンク先⇨⇨⇨
連絡先	hashimoto531020@gmail.com／090-8885-6054（通知要）　芦屋市精道町7-6 3F　※SNSのDMでも対応可能

■令和6年度決算

	歳入（前年比）	歳出	繰越し	収支
一般会計	482.0億円（+24.6億円）	462.7億円（+25.0億円）	2.6億円（▼1.2億円）	17.7億円（+0.8億円）
特別会計	253.9億円（+20.2億円）	244.5億円（+16.4億円）	-	9.4億円（+3.8億円）

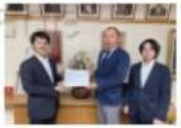
<概要QR>

経常経費の見直しや公共施設の適正管理とともに、災害対策や子育て支援など、市民生活に直結する施策へ重点的に投資を実施。税収の安定的な推移や、国・県支出金の確保により、必要な行政サービスを維持しつつも健全な財政運営を実現。財政指標はいずれも健全水準を維持し、歳入と歳出の均衡が取れた黒字財政を確保できている点を評価し決算認定に「賛成」いたしました。

しかしながら、毎年20億円前後の未使用額が発生しており、予算管理精度を高め住民サービスを充実するよう意見しました。

■令和8年度の予算要望を市長に提出いたしました

単に予算を要求を述べるのではなく、日頃感じている芦屋市の課題や市民よりいただくご相談について、この場で市長や担当局部長と共有をいたします。行政が気付かなかった住民の声も多く、全部が実現するわけではありませんが、市民との接点が行政サービスの実現に繋がっております。



<予算要望のほんの一例>
・小学校送迎サービス　・クマ対策　・県営住宅の抜本的対策　・芦屋公園北部の活性化　等

≪TOPICS≫

■公務の長期欠席による減給制度について

当会派より公務の長期欠席における減給制度の検討を提言し市議会で検討が始まりました。市民の納得できる議会の実現に向けて主体的に取り組んでまいります。

■部活動の地域展開について

来年度より開始される部活動の地域展開について「現在ない種目」や「地域展開が難しい種目」に焦点を絞り、市内の団代や事業者、大学に働きかけてきました。（硬式テニス・釣り・料理・吹奏楽 等）

50団体を超える多くの地域クラブから応募があり、芦屋市らしい質の高い地域展開を実現できるよう取り組んでまいります。

■行政視察について（民生文教常任委員会）　10月20日（名古屋市）、21日（北名古屋市）

【個別最適な学びと協働的な学び】
芦屋市が目指す「ちょうどの学び」と同義の取組みとして視察候補に選定。学年を横断したグループ構成で上級生と下級生が自分達で選んだ到達点に向かってそれぞれのレベル感で自発的に学んでいました。

【回想法事業について】
市役所が主導して高齢者を対象に過去の思い出を傾聴する取組みです。高齢者にとって介護や認知症の予防だけでなく、地域の記憶を次世代につなぐ文化的意義を確認できました。

■行政視察について（阪神水道企業団議員）　11月11日～12日（神奈川県内広域水道企業団）

芦屋市議会より選出いただいた阪神水道企業団議員として、
日本最大の配水を行う神奈川県広域水道企業団へ訪問いたしました。
阪神水道企業団との違いは、
(1)取水河川の二系統化（主：相模川、副：酒匂川）
(2)活性炭の投入工程（神奈川県は取水の工程、阪神はろ過の工程）
(3)各市町の自己生産率の高さ（神奈川県内5割～8割程度、芦屋市は1割以下）
(1)の二系統化と(3)の自己生産率の高さは、自ずと災害対策になります。
芦屋市に於いても自己生産量を上げれないものか研究してまいります。

一般質問のご紹介

【質問】「部活動地域展開の募集状況と吹奏楽部を初めとする特殊要因種目の移行サポートについて」

募集要項だけを掲載し、地域クラブを受動的に待っているように見える教育委員会の姿勢を指摘しました。特に、「現在存在している種目」が存続できない事態は回避すべきであると考え、指導者の専門性と楽器材や練習場所の制約等が発生する吹奏楽部を例に挙げて、移行できないリスクがある種目を個別でサポートするよう要請しました。

【芦屋市教育委員会アンケート】

【答弁】
これより地域クラブを検討される団代に向けた説明会の開催を展開していく。
指摘の通り抜け落ちる種目がないよう能動的に各団体にアプローチをかけていく。また現存するクラブだけでなく、新しい種目を追加し子供たちの多様なニーズに応えられるように個別のアプローチもしていきたい。

【質問】「宅配ＢＯＸの支援について」

個人向けの物流を支える宅配業者の再配達を抑制する必要性を感じました。民業支援の概念はないことを理解しつつも、①CO_2削減（温暖化、芦屋市の脱炭素施策）②市民の利便性向上（共働き世帯支援）③防犯効果（子供留守番時の受取）は大きいと提言しました。
山梨県全域や姫路市でも推奨されており、芦屋市のCO_2削減を目的とする省エネ予算を大きく余らせていることからも選択肢としての検討を提案しました。（令和6年度で1,200万円）

【山梨県HP宅配BOX補助チラシ】

【答弁】
市内の宅配BOX設置は既に一定の浸透しており、コンビニや駅ロッカーでも受取りも可能である。CO_2の削減およびその他の副次効果は認めるが、「省エネ」だけでなく「創エネ」の観点も考慮した支援を展開していきたい。

【質問】「消防法による芦屋市内ビル検査状況について」

8月18日に発生した道頓堀商業ビル火災を受けて、市内のビルについての消防法に定められた検査結果について確認。検査頻度や内容についての見解も併せて確認しました。また、芦屋市HPにある検査結果の更新日が2021年から更新されていないことを指摘し、更新日の更新を求めました。

【更新後芦屋市HP】

【答弁】
市内対象ビルは2155棟で令和6年度は269件の検査を実施。その他の立入検査を含めると500件程度の検査を行っており近隣市に比較しても高く、また公表に該当する違反はなし。
今後も防火対象物が増える可能性があるため、市民やビル管理者へ火災要望の啓発を強化する。
検査結果の告知については、指摘を受け止め更新を頻度を最新にしていく。

【質問】「市民が来たくなる市役所食堂の魅力化について」

市役所食堂の契約形態と利用者状況を確認し、市役所食堂の魅力化は、職員の意欲の向上や市民の利活用などのメリットを民間企業や大学の事例を用いて説明しました。芦屋市が誇る「学校給食の再現」や近隣の有名飲食店とコラボするような取組みを提言しました。
都内区役所の多くは公募による事業者選定を行い、競争原理を働かせることで品質向上を実現できていることから検討の打診も行いました。

【答弁】
契約は市役所でなはく「職員互助会」と業者との準委任契約となる。利用者は職員で2割程度だが、食堂のキャパからして限界があり、決して支持されていないわけではない。
ただ、指摘の通り新たな取組みついてできることはあるかもしれないので、業者の自主運営の範囲内で創意工夫ができないものか打診してみる。

早速人気店とのコラボ企画が10月から開始されました！！

公務外の活動

※日々の活動はSNSで発信してます

6月より二頭目の盲導犬育成ボランティアを引受け、盲導犬訓練所に送り出すことができました。多くの方々に応援をいただき、ありがとうございました。
総合公園ドッグランも1月着工予定です！！

日台友好議連議員として台湾視察に参加いたしました。竹北市長を初め議会との交流を持つことができ、両国の友好に尽力してまいります。

三條地車保存会様のご好意により、「芦屋だんじり祭り」に参加いたしました。芦屋のレガシーを学びました。保存会にも入会し、来年も参加します！！

市内で開催される色んな式典やイベントに参加させていただきました。今後も積極的に参加してまいります

フィッシングMAX様主催の親子釣り教室に参加させていただきました。貴重な自然体験として今後も協力していきます。

芦屋国際ローンテニスクラブ様、パナチルドレン様のテニススクールをお手伝い。高齢者の方でも楽しめるスポーツ振興を図ってまいります

微力ながら議会内外で大阪関西万博を推進しました。多くのご来場に感謝！！

業平町の葬儀場建設について、地元住民の方々と共に事業者と対話を続けております。

ダイバーによる芦屋浜（キャナルガーデン）の海底掃除が行われました。初めての取組みで多くの海底ゴミが清掃されました。